

施策評価表

1次評価日(課長等) 26年10月1日

2次評価日(部長等) 26年10月10日

1 施策の概要

施策名	スポーツの振興	コード	11-3
この施策の主な内容(細施策)	①市民ひとり1スポーツの実現、②競技力の向上、③スポーツによるまちづくり、④スポーツ環境の整備・充実		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	生涯にわたりスポーツに親しみ、明るく豊かで健康的な生活を送ることができるよう、「市民ひとり1スポーツ」の実現のため、市民スポーツの一層の推進を図る。		
担当部課	部 教育部	課等	スポーツ振興課
		作成者	小松 厚

●施策の実施内容 (D0)

2 施策指標の達成状況

*第4次総合計画における目標指標の達成状況(最終年度:25年度)

施策指標名	単位	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度	
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① スポーツ施設利用者数	人	274,801	294,382	188,000	302,490	160.9%	296,600	296,700
指標説明	スポーツ施設(総合体育館、庭球場、屋内プール、スケート場)の利用者を増やす。							
② 週1回以上運動・スポーツをする成人の割合	%	50	47	50	-	#VALUE!	50	54
指標説明	スポーツをする人を増やし、市民ひとり1スポーツを実現する。(健康増進に関するアンケートより(H25は数値なし))							
③ 国民体育大会出場者数	人	40	20	30	32	106.7%	20	23
指標説明	全国的な舞台で活躍できる競技者を増やす。							

3 施策全体にかかる合計コストの推移

*項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位:千円

	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
直接事業費	347,596	221,297	213,486	216,908
人件費	32,000	32,000	32,000	32,000
合計コスト	379,596	253,297	245,486	248,908

●施策の評価 (CHECK)

4 施策の現状評価

*25年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調/不調の判断

スポーツ振興では、健康の維持増進、体力向上を図るため、体育協会等との連携による各種大会、スポーツ教室を開催し、多くの市民の参加を得た。スケート及びバレーボールのまちづくりでは、教室内容を見直すとともに、育成事業による成果が見られたが、役員の不足を生じてきている。各施設管理では、指定管理者と連携し使用率の向上や施設の適切な維持管理、修繕に取り組むとともに、利用者によるボランティア活動も実施した。

*岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み/弱みとなる要因

岡谷市の強み	・スポーツ施設が充実している。 ・岡谷市体育協会がスポーツ振興の実行組織として機能している。
岡谷市の弱み	・スポーツ施設の維持費の増大と老朽化。

5 今後の外部環境の変化

*27年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	・2020年東京オリンピック、パラリンピック開催決定によるスポーツに対する関心の高まり。
不利に働くもの	・ライフスタイルの多様化によるスポーツ離れの進行。

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 平成27年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
 * 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度策定のスポーツ推進計画による施策を展開する。 スポーツ振興事業では、特に、子どもの体力向上に向け、学校体育活動の充実を図る。また、競技力向上、生涯スポーツの推進のため、体育協会等と連携し、各種大会、教室等に取り組みなど、子どもの多様なスポーツ機会の充実を図る。 老朽化施設及び設備の計画的な改修等を実施する。
見直しを行う分野	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技場の平成29年度公認更新を踏まえて、競技場の在り方について検討する。

●27年度の優先度

* 事務事業の方向性が「継続」の事業についてA～Cにランク付け
 A：拡大、B：現状維持、C：見直し、－：廃止・完了・統合

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	指標名	単位	成果指標				妥当性	方向性	優先度
							直接事業費		人件費				
							23年度	23年度	23年度	23年度			
							24年度	24年度	24年度	24年度			
							25年度	25年度	25年度	25年度			
26年度	26年度	26年度	26年度										
1	一般	なし	なし	スポーツ振興事業	ファミリースポーツプログラム及び教室参加者数	人	6,953	6,062	18,800	標準	継続して実施	A：拡大	
							6,332	10,072	18,800				
							5,662	10,480	18,800				
							6,953	11,071	18,800				
2	一般	なし	なし	スポーツ推進委員活動支援事業	スポーツ推進委員活動延べ人数	人	403	966	4,000	高い	継続して実施	B：現状維持	
							435	971	4,000				
							330	968	4,000				
							435	1,042	4,000				
3	一般	なし	なし	スケートのまちづくり事業	大会等参加者数	人	4,903	4,560	3,600	高い	継続して実施	B：現状維持	
							5,309	5,793	3,600				
							4,855	5,617	3,600				
							5,309	4,169	3,600				
4	一般	なし	なし	バレーボールのまちづくり事業	岡谷カップフレンドシップ大会参加者数	人	1,941	895	0	標準	継続して実施	B：現状維持	
							1,966	500	0				
							1,575	500	0				
							1,966	500	0				
5	公共施設	なし	なし	陸上競技場管理事業	施設稼働率	%	1	502	800	高い	継続して実施	C：見直し	
							1	8,071	800				
							1	119	800				
							-	112	800				
6	公共施設	なし	なし	やまびこ国際スケートセンター管理事業	施設稼働率	%	100	73,930	800	高い	継続して実施	B：現状維持	
							102	79,113	640				
							100	81,887	640				
							-	85,553	640				
7	公共施設	なし	なし	学校体育施設開放管理事業	施設稼働率	%	66	802	2,400	高い	継続して実施	B：現状維持	
							73	834	2,400				
							70	877	2,400				
							-	972	2,400				
8	公共施設	なし	なし	市民総合体育館管理事業	施設稼働率	%	62	212,141	320	標準	継続して実施	B：現状維持	
							78	53,327	320				
							76	53,174	320				
							-	56,618	320				
9	公共施設	なし	なし	市営岡谷球場管理事業	施設稼働率	%	28	4,920	160	標準	継続して実施	B：現状維持	
							26	5,191	160				
							20	10,618	160				
							-	5,596	160				
10	公共施設	なし	なし	市民スポーツ広場管理事業	施設稼働率	%	71	1,779	160	標準	継続して実施	B：現状維持	
							73	2,387	160				
							39	2,271	160				
							-	3,219	160				

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 平成27年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

* 優先して実施する分野=優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
 * 見直しを行う分野 =優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度策定のスポーツ推進計画による施策を展開する。 ・スポーツ振興事業では、特に、子どもの体力向上に向け、学校体育活動の充実を図る。また、競技力向上、生涯スポーツの推進のため、体育協会等と連携し、各種大会、教室等に取り組むなど、子どもの多様なスポーツ機会の充実を図る。 ・老朽化施設及び設備の計画的な改修等を実施する。
見直しを行う分野	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場の平成29年度公認更新を踏まえて、競技場の在り方について検討する。

●27年度の優先度

* 事務事業の方向性が「継続」の事業についてA~Cにランク付け
 A：拡大、B：現状維持、C：見直し、-：廃止・完了・統合

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	指標名	単位	成果指標			妥当性	方向性	優先度
							23年度	24年度	25年度			
11		公共施設	なし	市営庭球場管理事業	施設稼働率	%	23年度	23年度	23年度	標準	継続して実施	B：現状維持
							92	4,445	160			
							105	5,761	160			
							100	7,160	160			
12		公共施設	なし	市民水泳プール管理事業	施設稼働率	%	24年度	24年度	24年度	標準	継続して実施	B：現状維持
							100	36,594	800			
							100	48,779	800			
							100	37,568	800			
13		内部	なし	アイスアリーナ維持事業費	-	-	25年度	25年度	25年度	-	継続して実施	B：現状維持
							-	498	160			
							-	2,247	160			
							-	0	160			
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												